※今号は発行500号を記念して、通常と異なる裏表紙デザインでお届けします。
広報にかほ ●発行／にかほ市役所　総合政策課　〒018-0192　秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地　☎0184-43-7509（直通）
電子メール info@city.nikaho.lg.jp ホームページ https://www.city.nikaho.akita.jp

誰もが平等に未来を語る場

にかほ市 Nikaho Roundtable 若者円卓会議

vol.10
新たなコミュニティの形



地域プロジェクトマネージャー
國重 咲季 くにしげ　さき
（担当）連携推進課

9月12日に開催したLOCAL BEAT NIKAHOは、円卓会議から生まれた音楽フェスです。

2回目の開催となった今年は300人以上が会場を訪れ、にかほ市に縁のある8組のアーティストの音楽を楽しみました。出演したあるバンドは、市外のライブハウスでは常連で、メンバーの一人が市内企業で勤務しており、にかほ市に貢献したいと出演してくれました。また、同じく出演した地元の高校生のバンドは、昨年の同イベントでのアーティストの姿に憧れ、友人を誘って音楽を始め、今回が初ライブとなりました。音楽で人が繋がったというこのエピソードは、企画当初の願いそのものでした。



多世代が同じ空間に集まるという光景は、地域でも珍しいものになってきました。自治会では担い手の高齢化も課題となり、「行事に若者が参加しない」という声も聞かれます。昔は自治会単位で若者の集まりがあったそうですが、今では地域にいる同年代は限られ、集まって何かやろう、という動きが生まれることは難しいのが事実。そこで円卓会議が目指すのは新たなコミュニティの創造です。今回のイベントでは“音楽”がつなぎ役となり、市内外の若者を一つにしました。地域に愛着を持つのに必ずしも住んでいる必要はなく、「地域を盛り上げたい」という思いがあれば、仲間になり、ともに場を作ることができるのです。こうして作られたコミュニティには、多様な人々が共感し、集まってきてくれます。LOCAL BEATの当日も、同級生の演奏を見に来た高校生から、公園で遊ぶ子どもたちやその家族、流れる音楽に誘われてやってきた近所の人たちなど、多世代が集いました。この光景こそ、新たなコミュニティの形だなと思います。イベント名の「LOCAL BEAT」には、本市にビートを刻むように、毎年続くものにしたいという思いを込めています。ここで生まれた新たなコミュニティが少しずつ大きくなることを願っています。

円卓会議委員募集中！

右のQRコードから公式LINEに登録し、ご連絡ください。

鳥海山・飛島ジオパークリレーコラム

～日本海と大地がつくる水と命の循環～ vol.142

Mt.Chokai & Tobishima Island Geopark
鳥海山・飛島ジオパーク

『第9回アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGN)国際シンポジウム』



一般社団法人鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会
事務局次長兼主任研究員
大野 希一（おおの　まれかず）さん

2026年9月7日から10日にかけて、「第9回APGN国際シンポジウム」が、マレーシアのランカウイユネスコ世界ジオパークで開催されました。22カ国から590人が参加したこのシンポジウムには、日本から11のユネスコ世界ジオパークと3つのユネスコ世界ジオパークを目指す地域の関係者など、計58人が参加しました。

口頭発表では、主任研究員が昨年度鳥海山・飛島ジオパークのエリア内で実施した、来訪目的を問うアンケート調査の結果を紹介し、来訪目的を知ることがジオツーリズムを推進する上で重要であると訴えました。またシンポジウムの期間中は、日本のジオパークを紹介するブースの運営に加え、インドネシア、韓国、フィリピン、中国、香港のジオパークスタッフと、教育活動や海岸清掃活動、拠点施設における相互展示など、実質的な連携事業の推進の可能性について、直接意見交換を行いました。なお、本シンポジウムには、国内のユネスコ世界ジオパーク地域から高校生が参加し、自らの取り組みを英語で発表する姿がユネスコ関係者に強烈なインパクトを与えました。本シンポジウムは、今後当地域でユネスコ世界ジオパークの認定に貢献する活動を推進する上で、大いに示唆に富んだ場となりました。



▶閉会式で、Mine秋吉台地域がユネスコ世界ジオパークの認定証を受け取りました。おめでとうございます！

澤部 肇（はじめ）さん　令和８年秋田県文化功労者表彰受賞

－半世紀以上にわたり電子部品製造業の第一線を走り続け－



10月27日、秋田県庁で令和８年秋田県文化功労者表彰式が行われ、TDK株式会社６代目代表取締役社長の澤部肇さん（千葉県在住）が受賞されました。澤部さんは、昭和39年に東京電気化学工業株式会社（現TDK株式会社）に入社後、代表取締役社長から会長へ、そして相談役として55年間という半世紀以上にわたり、電子部品製造業の第一線を走り続け、売上高１兆円を超えるエレクトロニクス企業へと成長させました。

代表取締役会長となった直後に開催された第77回都市対抗野球大会において、TDK硬式野球部が初優勝を飾り、全国制覇を成し遂げたという偉業は秋田県のスポーツ振興に新しい可能性を拓きました。また、産業やスポーツの振興のほかにも、TDK歴史館（現TDK歴史みらい館）開館による歴史・文化の承継や、「ゆり海岸林再生プロジェクト」においては多額の資金援助をするなど、本荘由利地域の海岸線の環境保全にも尽力されました。このたびの受賞おめでとうございます。

秋田マテリアル株式会社　２年連続最優秀賞受賞!!

－健康秋田いきいきアクション大賞－



◀プレゼンを行った齋藤七星さん（右）と三浦力也代表取締役社長（左）

秋田県健康づくり県民運動推進協議会が主催する健康寿命日本一を目指す「健康秋田いきいきアクション大賞」において、本市の秋田マテリアル株式会社が昨年度に引き続き最優秀賞を受賞しました。

今年度は「健康経営2026×GOOD SLEEPプロジェクト」をテーマとして、「GOOD SLEEP(良質な睡眠)」を起点に健康づくりだけでなく、DXや環境整備による業務改善を進めた実績をプレゼンテーションし、見事２年連続の最優秀賞受賞となりました。おめでとうございます。

寄附・寄贈

私の地元応援募金

明治安田生命保険相互会社より、私の地元応援募金として６年連続のご寄附をいただきました。



浅野秋田支社長（左）と市川市長

各種大会結果

本荘由利中学校秋季大会

▷野球／①本荘由利SNBC（金浦中）②象潟中▷サッカー／②仁賀保・象潟合同▷バレーボール／①仁賀保・岩城・由利合同③象潟・金浦・本荘南・鳥海合同▷女子ソフトテニス／▷個人／①加藤瑚心・村上蓮夢ペア（象潟中）⑤朝倉凜・伊東結芽ペア（象潟中）／▷団体／③象潟中▷男子バスケットボール／②仁賀保・象潟合同▷男子卓球／▷個人／③三浦優樹（金浦中・金浦TTC）▷男子剣道／▷団体／①仁賀保中③象潟中／▷個人／②榮喜一士（仁賀保中）③生出颯歩（仁賀保中）▷男子柔道／▷団体／②金浦中／▷個人／50kg級①石沢陽斗（金浦中）／60kg級①菅原香平（金浦中）②竹内規一郎（金浦中）

秋田県中学校秋季水泳大会

▷男子50ｍ自由形／③畠山晴丞（金浦中）▷男子100ｍ自由形／③畠山晴丞（金浦中）

秋田県第６回読売カップキッズサッカー大会

▷U－8／②ニカホWin－sFC

その他

５歳児健診でむし歯のなかったおともだち

高橋叶愛、奈良蓮、佐藤瑛、佐々木理凪、高橋心叶、酒井大知、本多遥稀、佐藤遥月、佐藤柚月、伊藤愛菜、佐々木翔葵、佐々木陽向